

神のみこころが自分と違うとき

主の御前で静まり、主の御声を聞くことを学んで来ましたが、神の導きを感じても、それが一体何のためなのか？ どんな理由があってそのように語られるのか？ 分からない事があります。また、神様がなさろうとしておられることが、自分の思いと違うとき、自分はそうしたくないと思うとき、私たちはどうしたら良いのでしょうか。

苦悩するヨナから神のみこころについて、学びたいと思います。

聖書の学び

旧約聖書の預言者ヨナは、エリヤと同時代の預言者であり、海外宣教師です。彼は2800年以上前の、アッシリヤ帝国の首都ニネベの人々を悔い改めさせました。旧約聖書最大の預言者と言われています。

I、神のみこころに従えない理由

(どのような人も、神様のみこころが分からない時があります。)

1、神の預言者ヨナは、神の御声を聞いて、どうしたのでしょうか？

(ヨナ書1：1～3)

2、ヨナはなぜ、神の御声に従わなかったのでしょうか？

①彼が臆病者だったからなのか？

- ・彼は敵国で迫害を恐れたのではない。(ヨナ書3：4～10)
- ・嵐も恐れない…船の底で寝ていた。(ヨナ書1：5)
- ・嵐の海に投げ込まれてもいいと覚悟を決める度胸がある。(ヨナ書1：12)

②彼は不信仰だったのか？ (ヨナ書 1：9～12、4：2)

③ヨナが神様のみこころに従いたくなかった理由はなんなのでしょうか？

※ヨナは熱烈な愛国者だった。

- ・イスラエルを攻める大国アッシリヤ帝国が、神に呪われて滅びるのを喜んでいた。
- ・悔い改めて神の祝福を受けさせる手伝いなど、絶対したくなかった。

Ⅱ、主のころを自分の心とする

1、神様はこのような頑固なヨナをどうされたのでしょうか？

- ① ヨナ書1：17
- ② ヨナ書 2：1～9
- ③ ヨナ書 2：10

2、ヨナの宣教により、人々が悔い改め、災いが下らなかったとき、ヨナは何と神様に言いましたか。

死んだ方がましです！(ヨナ書 4：3) …→ どのような心でしょうか？

3、神様はヨナに唐胡麻を通して、神の憐れみの心を教えました。

- ①唐胡麻が枯れて熱い日照りにヨナが衰えたとき、唐胡麻を惜しんで、何と神様に言いましたか？(ヨナ書 4：8)

- ・死ぬほど唐胡麻が大事だと思う心。
- ・神様の心は全ての人が悔い改めて、神に立ち返ることです。

- ②Ⅱコリント5：14～15を開きましょう。